

平成29年度第3回

長洲町

総合教育会議記録

平成29年度第3回長洲町総合教育会議

○日 時

平成29年12月26日(火) 午前10時00分～午前11時30分

○場 所

長洲町役場3階大会議室

○出席者(5名)

町 長	中 逸 博 光	教 育 長	松 本 昇
教 育 委 員	大 山 司 郎	教 育 委 員	田 中 伏 美
教 育 委 員	隈 部 壽 明		

○説明補助員(4名)

まちづくり課長	田 成 修 一	子育て支援課長	山 本 明 子
子育て支援課長補佐	中 山 健 一	福祉保健介護課長	吉 田 泰 滋

○事務局(8名)

総務課長	田 畑 道 尋	総務課長補佐	杉 浦 親
総務課総務係長	山 口 葉 子	総務課総務係担当	五十嵐 史 紘
学校教育課長	藤 井 司	学校教育課長補佐	松 林 智 之
生涯学習課長	長 田 修	生涯学習課長補佐	荒 木 功

○関係者(7名)

長洲町スポーツ推進委員会会長	吉 田 一 明	NPO法人長洲にこクラブ副理事長	堀 雅 史
株式会社ソノアメティ長洲営業所所長	田 成 護	長洲町子ども会連合会会長	高 松 孝 二
長洲町老人会連合会会長	高 松 一 馬	清里小学校校長	城 祐 治
腹栄中学校校長	松 永 光 親		

議事次第

- 1 開会
- 2 主催者挨拶
- 3 協議・調整事項

長洲町のスポーツ振興について

4 その他

平成29年度第4回長洲町総合教育会議について

【司会（杉浦総務課長補佐）】 皆様、おはようございます。ただいまより平成29年度第3回長洲町総合教育会議を開催いたします。

それでは、まず開会に当たりまして、主催者であります中逸博光長洲町長よりご挨拶を申し上げます。

【中逸町長】 皆様、おはようございます。ほんとうに師走の大変お忙しい中、平成29年度第3回総合教育会議にご出席を賜り、まことにありがとうございます。また、委員の皆様におかれましては、日ごろから長洲町の教育行政にご尽力をいただいております。ほんとうにありがとうございます。

前回、第2回の会議におきましては、今年4月から開設いたしました子育て総合支援センターはぐくみ館の利用状況等について、さまざまなご意見を出していただきました。今後も、はぐくみ館につきましては、長洲町で安心して子育てしていただくためにも、相談者に寄り添った運営を行ってまいりたいと考えているところでございます。

今回、第3回の会議におきましては、長洲町のスポーツ振興を議題とさせていただいております。スポーツの振興につきましては、行政だけではなく、各種団体の皆様の多大なるご尽力が必要不可欠であり、そのことから、今回、各種団体の皆様にもご出席いただき、現状と課題を共有することで、さらなるスポーツの発展につながっていくものと考えております。

また、先日、腹栄中学校におかれましては、熊本県において体力向上優秀実践校として選ばれるなど、各学校におかれましても、体力向上に向けたさまざまな活動を行っておられますことに対し、心より感謝申し上げます。

これからも、子供たちが健康で健やかに成長していくためにも、施設や設備の充実を図りながらスポーツによるまちづくりを推進してまいりたいと考えておりますので、委員の皆様、並びに各関係団体の皆様のご理解とご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

最後になりますが、委員の皆様との議論を通じて、長洲のスポーツ教育がより充実したものとなることを祈念申し上げまして挨拶とさせていただきます。本日はよろしくお願い申し上げます。

【司会（杉浦総務課長補佐）】 それでは、開会に当たりまして、今回ご出席いただいておりますアドバイザーの皆様のご紹介をさせていただきます。

長洲町スポーツ推進委員会会長の吉田一明様です。

【吉田長洲町スポーツ推進委員会会長】 おはようございます。よろしくお願いいたします。

【司会（杉浦総務課長補佐）】 NPO法人長洲にこにこクラブの堀雅史様です。

【堀NPO法人長洲にこにこクラブ副理事長】 よろしくお願いたします。

【司会（杉浦総務課長補佐）】 株式会社サンアメニティ長洲営業所所長の田成護様です。

【田成株式会社サンアメニティ長洲営業所所長】 おはようございます。よろしくお願いたします。

【司会（杉浦総務課長補佐）】 また、おくれていらっしゃる2名の方をご紹介します。長洲町子ども会連合会会長の高松孝二様です。もう一方は、長洲町老人会連合会会長の高松一馬様です。また、長洲町体育協会会長の浦邊朝章様に出席をお願いしていましたが、体調不良のため今回は欠席となります。

本日は、以上5名のアドバイザーの方にご出席をいただいております。皆様、どうぞよろしくお願いたします。

また、今回は、町内の小学校を代表いたしまして、清里小学校校長の城祐治様。

【城清里小学校校長】 おはようございます。

【司会（杉浦総務課長補佐）】 中学校を代表いたしまして、腹栄中学校校長の松永光親様にご出席をいただいております。

【松永腹栄中学校校長】 おはようございます。お世話になっております。お願いたします。

【司会（杉浦総務課長補佐）】 本日はどうぞよろしくお願いたします。

それでは早速ですが、本日の次第3にあります協議・調整事項となります。長洲町総合教育会議運営規約第2条におきまして町長が議長となることとなっておりますので、これからは町長に議事の進行をお願いいたします。

《 3 協議調整事項 》

【議長（中逸町長）】 皆様、改めましておはようございます。よろしくお願いたします。

本日は、長洲町のスポーツ振興について、現状と課題を踏まえまして、これからの方向性や施策についてご意見をいただきたいと考えております。

長洲町におきましてもさまざまな活動が行われておりますので、この後、生涯学習課から、こういった現状と課題について、皆様にご報告をさせていただきます。そして、その後、各団体の皆様、校長先生、そして委員の皆様と意見交換をさせていただきたいと考え

ております。

それでは、生涯学習課長から説明をお願いいたします。

【長田生涯学習課長】 皆様、おはようございます。生涯学習課の長田と申します。よろしくをお願いいたします。着座にて説明させていただきます。

それでは、長洲町におけるスポーツ振興に向けた現状と課題ということで説明させていただきます。資料1ページをお願いいたします。

まず1の長洲町における主な現状と課題でございますけれども、長洲町におきましても、核家族化、少子高齢化、世代間や地域社会における連帯感の希薄化、ライフスタイルの多様化など、大きく生活環境が変わってきております。その間、現状において課題としましては、①少子高齢化の進行、②スポーツニーズの多様化、③体力低下とストレスの増大、④人間関係の希薄化など、スポーツによる地域社会活動に大きな影響が出ているところでございます。

続きまして、(2)各分野における主な現状と課題でございますけれども、スポーツ事業の推進と子供たちのスポーツに触れる機会の充実、高齢者のスポーツ推進・確保、スポーツに関する情報提供の拡充、それとスポーツ施設の整備・充実など、これら多くの課題を抱えている現代社会において、それぞれの年代、体力や目的に応じて主体的にスポーツを推進するには多くの課題がございます。

続きまして、長洲町のスポーツ推進計画の策定ということでございます。町はこれまでいろいろ取り組んできまして、各種スポーツの振興のための施策をさらに発展させ、住民の誰もが気軽にスポーツに親しみ、スポーツ活動を支援していく環境づくりを進めるために平成27年3月に長洲町スポーツ推進計画を作成しております。

なお、スポーツ推進の計画の内容につきましては、4ページから8ページまでに長洲町スポーツ推進計画の一部を抜粋しておりますが、基本理念としまして、“スポーツの力”で活力あるまち・明るいまちづくりを目指し、3本の基本目標を位置づけ、基本理念及び目標に沿った施策を現在推進しているところでございます。

以上、簡単ですけれども、説明をさせていただきました。

資料の最後に、各中学校の運動部活動の組織表ということで添付させていただいておりますので、よろしくをお願いいたします。簡単ですけれども、終わります。

【議長(中逸町長)】 ありがとうございました。

それでは、各種団体の皆様から現状と課題、あるいは長洲町に対しての要望等もお聞か

せいただければと思います。

まず、最初に吉田会長からお願いしたいと思います。

【吉田長洲町スポーツ推進委員会会長】 私はスポーツ推進委員の会長ということで、町のほうから委嘱されて、させていただいています。現状、スポーツ推進委員としましては、以前は指導者の確保ということで苦慮しておりましたけれども、3年前の改選のときには、松本教育長のアドバイスも受けてスムーズに人員の確保ができた。現在は、20代から30代、40代、50代、60代と各校区からバランスよく選出してもらって、非常に内容的にはいい環境でさせていただいております。

競技につきましても、皆さんもご存じのように、3年前からペタンクを行うようになって、年々参加者も増えて、これも行政の方々の協力も得てのペタンクということで非常に感謝しております。

ただ内容的には、行政区によって温度差があります。非常にいい例でしたら、鷺巣区は、ここ二、三年、ほんとうに積極的に参加していただきまして、成績のほうも優勝とか、上位に入ってきています。これは、区の区長さん並びに体育委員さんの働きによっての現状だと思いますので、これにつきましては、行政のほうからも各行政区に対しての周知徹底、これは私たちスポーツ推進委員もそうですけれども、こちらのほうも今後一緒になって呼びかけをしていって、各行政区からほんとうに平等に参加していただけるようになればと思っております。

さきに行われました駅伝大会も、企業からの参加も増えてきておりまして、また以前みたいだんだんと盛り上がりが出てきておりますので、今後ともよろしくお願ひします。

スポーツ推進委員としては、現状、町に対しての不満もないし、このまま維持して、さらに発展していけばと思っております。

以上です。

【議長（中逸町長）】 ありがとうございます。では、次に高松会長から、老人クラブのスポーツの推進における課題と現状をお話ししていただければありがたいと思います。どうぞよろしくお願ひします。

【高松長洲町老人会連合会会長】 遅くなりまして、どうも済みません。

老人会の今の取り組みとしては、いかに健康で長生きで過ごせるかということテーマとして、いろいろなスポーツを取り入れています。今期は、グラウンド・ゴルフにも270名ほどの参加をいただきました。基本的に三つのスポーツを掲げています。

私も知識不足で、町のほうにカローリングの器材があることがわからなくて、大会がある中で、よその町に借りようかということで大会になったんですけれども、ほんとうに自分自身、会長として町にカローリングの器材があるのもわからなくて、先だって海洋センターのほうから聞きました。

膝が悪い方など、いろいろな方がいらっしゃいますけれども、特に行事を設けたときに、雨が降ったときは何にかえるかということでいろいろ模索をします。当初、輪投げとかいろいろやっていたけれども、輪投げもかなり普及しまして、新しいスポーツを何とか取り入れてくれんかというのが会員さんの現在の要望です。それに従って、町のほうにもご相談しながら、ニュースポーツということで、今、取り組んでおるところです。

うちの課題としては、今のところ、町の協力もあって、皆さんこぞって参加していただいている関係で問題とすることはないんですけれども、冒頭で言いましたとおり、いかに会員さんにいろいろな行事に参加していただくか。特に健康寿命を延ばすにはやっぱりスポーツかなと思っています。年代に合ったスポーツにこれから取り組んでいきたいなど。

今期は、運動会には537名の方に参加していただきました。その中で、年々、新しいプログラムの構成を考えてほしいということでしたので、おとこの役員会で皆さんと論議しまして、3点ほど来期はプログラムの構成を変更しようと。また、これについても福祉課あたりと相談しながら、いかに安全かということを中心に考えながら、今期は取り組んでいこうかなという思いを持っています。

大体以上です。

【議長（中逸町長）】 ありがとうございます。三つのスポーツというのはどういうものに力を入れているんですか。

【高松長洲町老人会連合会会長】 グラウンド・ゴルフと、運動会を5月にやりまして、それからカローリングを今のところ6月末ですね。雨季で雨が降っても、体育館ですから関係ないからですね。

ただ、先だってカローリングをしようかと思ったら、人数が、1チーム5人体制ということで、170人ぐらいは体育館に入ると聞いておったので、そのつもりでおったところ、意外と200ちょっと来られたもんだから、武道場まで使わないかんごてなってますね。でも、心安く貸していただきました。あれは畳の上でも十分できますから。だから、カローリングもやったことで、多くの方々に喜んでいただきました。

ただ私が、町にその器材があるということ、無知だったものだから、よその町に借り

た次第です。今後は、そういうことで町当局とも相談しながらやっていきたいと思っています。

【議長（中逸町長）】 ありがとうございます。

それでは、にこにこの堀さん、お願いいたします。

【堀NPO法人長洲にこにこクラブ副理事長】 にこにこクラブの副理事長をしております堀と申します。よろしく申し上げます。

お手元にクラブの概要ということで資料を置かせてもらっていますので、それに基づいてクラブの概要について説明させていただきます。

私たちNPO法人長洲にこにこクラブは、国のほうでスポーツ振興基本計画をつくっております、その施策に基づいて誕生したクラブでございます。施策の内容につきましては、これから生涯スポーツの推進をもっと積極的に進めるためには、住民の皆さんがより身近で気軽に継続して参加できるスポーツ環境の整備、仕組みが必要であり、そのためには、全国各市町村に総合型地域スポーツクラブをつくって、それで推進を図っていこうと。そういう施策ができて、それに基づき発足したクラブでございます。

クラブの特徴としましては、多種目や多世代、多志向等々、代表的には六つの特徴がございます。

次に、クラブの現状につきましては、今年度は、スポーツ、文化も含め、文化種目で書道とコーラスも行ってございまして、15の種目で19の教室を開催しております。入会された皆さんは、1種目だけではなくて何種目でも参加できるという特典もございます。

それから、現在の会員数ですけれども、4歳から80代までの390名の皆さんが、日々健康づくり、生きがいづくり、競技力の向上等に取り組んでおられます。

その他の事業としましては、スポーツフェスタ、熊本ヴォルターズやロアッソ熊本等々の指導によるスポーツ教育、それから、研修会等の開催、そのほかに町のほうからお世話になりまして六栄保育所の運動教室、それと一昨年からは、総合スポーツセンターの指定管理者の共同事業体ということで活動を行っております。

また昨年より生涯学習課、町の体育協会、スポーツ推進協議会の皆さんと一緒に、長洲町のスポーツ団体情報交換会ということで、今後の生涯スポーツ推進をどうやっていくかという会合も開始しております。

クラブの課題としましては、指導者等の人材不足と資質の向上、それから安定した財源の確保、PR不足による知名度の低さ等々が挙げられております。

次の参考資料ですけれども、参考1につきましては、スポーツを取り巻く環境の変化ということで、これは冒頭、長田課長の説明がありましたのと大体同じ内容でございます。

参考2と参考3は、国のスポーツ基本法のほうで、スポーツ推進のための基礎的な条件としては、まず指導者等の人材の養成等が重要になるというような条文もあります。それから、スポーツを推進する体制としては、スポーツ推進審議会等を置いて検討を進めていったらということがうたわれておまして、参考程度に載せておりますので、よろしくお願い申し上げます。

うちのほうからは以上でございます。

【議長（中逸町長）】 詳しく述べていただきまして、ほんとうにありがとうございました。

それでは、田成所長からお願いいたします。

【田成株式会社サンアメニティ長洲営業所所長】 株式会社サンアメニティの田成と申します。B&Gスポーツセンターの指定管理をやらせていただいております。

現在、特にお子様のプールのスクールですとか、年配の方、老人会員を中心としたご利用はすごく増えてきております。ただ、今、一番のスポーツセンターの課題としましては、F1層とM1層——20代、30代の利用が伸びていないことだと思っております。

その中で、昨年度、体育館の改修をしていただきまして、特に20代、30代の方がご利用される時間帯6時から8時、9時ぐらいまでの体育館の稼働率はすごく上がっておりまして、80%以上の利用があると。その中で、20代、30代を増やす上で必要な部分、稼働率が低い部分がグラウンドです。あと、もっと利用の状況が上げられる可能性があるのがトレーニング室です。この二つの対応が今、課題だと思っております。

その中でネックになってくるのが、その時間帯のグラウンドを使われる方のナイター料金です。すごく高額になっているということが一つ原因で気軽にご利用いただける状況ではないのかなと考えております。

それとトレーニング室ですけれども、20代、30代の方のご利用を考えたときに、快適性という部分が、一般的な民間のスポーツクラブに比べると少し劣っているかなと。簡単に言うと、夏は暑くて冬は寒いという部分ですとか、特に清掃面では気をつけてやっている部分はあるんですけれども、ご利用される方の快適さが少しネックになっているのかなという感じはしております。

その辺を今後、2期目、あと3年ぐらいかけて状況を少しずつ改善して、20代、30

代の取り込みができれば、ますます活性化させていけるのではないかと考えております。

以上です。

【議長（中逸町長）】 ありがとうございます。

それでは、子ども会連合会の高松会長、お願いいたします。スポーツをいろいろやられていますけれども、現状と課題についてよろしくをお願いいたします。

【高松長洲町子ども会連合会会長】 おはようございます。おくれて済みません。子ども会の高松といいます。

子ども会では、例年、春には運動会、夏前にビーチボール、ソフトボール——これは郡大会、県大会の予選になっています。秋にティーボール大会を行っていますけれども、会員の減少が一番ネックになっております。

本年度、新たな試みとして、ティーボールを、にこにこさんのやられているスポーツフェスタと一緒に1日運動ができるように、ティーボールだけではなくて、ほかの運動もできるようにということで、にこにこフェスタと合同で開催しました。来年度以降も、子ども会単体ではなくて、町のほかの団体さんと合同でできるような機会があれば、どんどん進めていきたいと考えております。

あと、本年度、郡の大会が長洲町でありました。その前に県の大会が長洲町でありました。両方とも、中学校のバレー部の人たちに審判をお願いして行ってもらいました。これが郡、県、それぞれから、かなりいい評価を受けております。来年度以降も、中学校の先生方にまたお願いして、そういう方向で進めていきたいと考えております。

以上です。

【議長（中逸町長）】 ありがとうございます。

続きまして、校長先生から、学校における現状と課題を伺いたいと思いますので、両先生からお願いいたします。

【城清里小学校校長】 それでは失礼いたします。まず小学校でございますけれども、平成28年、昨年度に社会体育に移行しまして、現在、学校のほうでは運動部活動ということでは行ってはいないところです。

私は小学校にずっと勤めさせていただいておりますけれども、小学校の中に持っていくのは、子供たちが6歳から12歳と非常に幅も広いわけですけれども、スポーツ振興等も含めたところで、小さいときに群れて遊ぶという経験が非常に少ないのかなというところなんです。ですから、低学年には危ないときの危険の回避あたり、俊敏性も含めた経験をたく

さんさせたいなととても思っているところです。小学校段階の中で思いますのは、競技スポーツに特化していくことよりも、できるだけ、浅くでも構わないので、広くいろいろなスポーツの経験を積ませていって、いろいろなものに出会ったときにたじろがないというんでしょうか、ちょっとやったことがあるよとか、苦手意識を持たないということを思っているところです。

子供たちの現在の体力的な課題ですけれども、これはどこの小学校も一緒かと思いますが、子供たちの筋力とか敏捷性、投力——投げる力、それから持久力というんでしょうか、そういうところが、今現在、非常に課題かなというところで、学校の体育の授業等を通して、もしくは昼休みの時間帯、業間の時間帯を通してながらさせていっているということでございます。

現在、部活動がなくなっているところで、にこにこさんであるとか、いろいろなクラブの活動等にお世話になっているところですが、土曜日とか日曜日とかに試合等があったとき、その場所までの移動等もそうなんですけれども、どうしても時間帯が遅くなっているところもあるのかなと。そういうところが課題かなと思っています。月曜日に疲れている子供たちもいるのが否めない事実でございます。

以上です。

【議長（中逸町長）】 ありがとうございます。それでは、松永校長、お願いいたします。

【松永腹栄中学校校長】 中学校の現状と課題ですけれども、一般的に皆さんがいつも見聞きされていることに尽きるんですが、今日は別資料で、部活動の中学校それぞれの設置種目、人数等の一覧表があるかと思います。体育の授業とスポーツというところで、同時には考えられませんが、体育とスポーツは違いますので、そのあたりの絡み、意識の問題も一つ現状としてあるのかなと思います。

体育の授業の充実についてはそれぞれの学校で十分なされていると思います。教育活動の一環としてやる部活動については、まず、やりたい種目がない、少ないというのがどこの学校でもそうかなと思いますし、少子化に伴って部活動の種目をカットせざるを得なくなっているという現状が非常にあるかと思います。

それから、指導者の問題。今、非常に取り沙汰されている教員の働き方改革の中で、ブラックという言葉が全国で。でも、これをきっかけに、今しないと、今後ずるずるずる行くのかなという感じがします。思い切ってくみ上げて。熊日新聞に、昨日と今日も、

それぞれ載っておりましたけれども、期待をしているところです。

あと幼保小中連携のスポーツの一貫したスポーツ環境をどうしていくか。幼児体育も運動指針が文科省から数年前に出ておりますけれども、それをどう小学校につなぎ、小学校から中学校につなぐかという部分が現状の課題としては挙げられるのかなと思います。

課題はたくさんあります。ここで言い尽くせない部分がありますので、今後、こうやってテーブルに載せながら、長洲町独自のスポーツ環境を豊かにするにはどうするのかな、幼児から高齢者まで含めた部分、学校でやるべきこと、地域でやるべきこと等々を考える必要があるかなと思っています。

まとめませんけれども、以上になります。

【議長（中逸町長）】 ありがとうございます。

皆さんからいろいろご意見、課題、現状についてお聞かせいただきました。今日は、情報の共有化ということでさせていただきたいと思います。皆さんのご意見を聞いて、今後どのような長洲町のスポーツ振興に向けた取り組みをやっていこうかというのを、あと何回かやりながら、結論を出していきたいと思っております。

今日、皆さんのいろいろなご意見を聞いて、委員の皆様、大山先生のほうから、現状と課題、これからの委員の皆さんの思いを聞かせていただければありがたいと思います。

【大山委員】 意見というか、それを述べます前にちょっと質問があるんですけども、現状、どれぐらいの人たちがスポーツをやっているかということの量的なものとか、比率的なものとか、そういうのをもうちょっと知りたいなと思います。今、報告していただいたほかに、小中学校の体育館を使って、特に夜やっている人たちもかなりおられると思いますので、生涯学習課のほうでそれが把握できていれば、お願いしたいと思いません。

【長田生涯学習課長】 それでは、町内のスポーツ施設の利用状況ということで、まずスポーツセンターにつきましては、平成28年度で申し上げますと、年間14万7,891人の方が利用されております。ちなみに、あと、学校体育館の施設になりますけれども、社会体育のほうでも利用されていると思うんですが、四つの小学校と二つの中学校で、28年度で申し上げますと、年間2万5,820人の方が利用されたという状況でございます。

【大山委員】 これはほとんど夜でしょう。年代層とか、そういうのはどのくらいですか。

【議長（中逸町長）】 年代層とか、わかりますか。

【長田生涯学習課長】 大変申しわけないですけれども、年代別には、把握はまだしておりません。

【大山委員】 今、教育委員会で一番問題に思っているのは、小学校の部活がなくなって社会体育に移行しているんですけれども、さっきも出ましたように、時間の問題とか送り迎えの問題とかで、なかなか各学校で部活動をしていたようには参加できていないというところが課題かなと思います。そのため、前にも出たんですけれども、送り迎えが町のほうでできないとか、もうちょっと早い時間に指導してくれる指導者が見つからないかなとかですね。教育委員会としても、子供にも9時には寝ろとか10時には寝ろと言っているのに、社会体育は9時までとか、遅いところは9時半までとかやるのも問題があるなと思っています。そういうところが課題だと思っているんですけれども、なかなか進めていけないということですね。

もう一つは、小学校のほうで、子供時代には、一つの競技ではなくて、浅くても広いスポーツの経験があったほうがいいのではないかなというご提言があつて、私たちもそう思っているんですけれども、学校の体育関係でもされていると思うんですが、今、また放課後の児童の居場所づくりといいますか、それを進めようとしておりますので、そういうところでも、そういうことを考えながらやっていかんといかんのかなと思っています。今、思いついたんですけれども。

【議長（中逸町長）】 ありがとうございます。

それでは、次に隈部委員、よろしく願いいたします。

【隈部委員】 先ほど松永先生のほうから、教職員の業務改善みたいなこととおっしゃいました。多くは部活の指導のところの負荷が非常にかかっているというのが一般的な世の中の認識だと思うんですけれども、そこら辺の方向性としては、長洲町としては、社会体育、にこにこクラブにシフトしていくという方向だと私は認識しているんですが、そういう意味で、にこにこさんがそういうふうな方向を認識して、どんどん改善をしていって、社会体育として町の中学校、小学校あたりの体育の活動を全部引き受けて、こういうふうにして持っていこうとか、何かその辺のシフトがうまくいっていないんじゃないかなという気がしているんです。その辺は、にこにこさんと学校とかの思いはどうなんでしょうねという質問です。

【議長（中逸町長）】 では、学校のほうから。

【松永腹栄中学校校長】 部活動の中学校は、部活動としてそのまま継続です。

これは国が今やっと動いている、やっとというか、細かく言うと、馳文部科学大臣のときに出た通称馳プランの中で、今もこれは続いているんですけども、教員の養成、チーム学校、それと地域との連携・協働、この三つの大きな柱で全部動いています。

そのチーム学校のところでSSWとかSCとか、欧米ではスクールポリスとか弁護士とかを配置しながら、学校のイメージとしては、職員室の中に教諭だけではなくていろいろなジャンルの人たちが入ってきているというイメージです。そこに、チーム学校として部活動指導員を、法改正をしながら、この4月から国はスタートしています。だから、部活動はそのままです。

小学校の部活動は全国的にはありません。熊本独自のスタイル。だから、それを本来の全国レベルにならしていこうというのが熊本の動きで、小学校の部活動がいわゆる社会体育にということですけども、これは、つけ加えると、部活動がなくなったからではなくて、部活動の意義や課題が山積して、このまま行ったら子供たちのスポーツ環境なり健康教育が行き詰まると。だからもっと豊かにしましょうということで、総合型地域スポーツクラブのにこにこを発足させて、地域で多世代や心の教育やいろいろなものを包括した環境をつくりましょうということで国が動いてきて、今現在があると。まだまだこれから熟していかなければいけません。さっき、課題のあった時間の問題とか指導者の問題もあります。

中学校はそのままです。指導員を配置して、今回、熊本でも調査がありました。簡単に言うと、例えば、僕がバスケット部を指導していて引率していく、中体連に出る、それは教員でなければできなかったのが、引率も指導もちろん、計画もあわせて、その1,000人の指導員に任せることができると。結局、報酬費も発生するわけですね。

だから、学校に将来的にはずっとその位置づけができるのをイメージしているみたいですけども、なかなかそういう人材が今いないです。で、今回、調査をして、きのうですかね、今日かな、新聞に載っていたのがあの数字なんです。全国的に調査をした数字があれ。かなり多そうですけども、例えば、熊本県下は多分かなり少ないと思います。熊本市内のほうが多いかもしれないです。現在、長洲では、腹栄中も、長洲中もいませんでした。でも、いずれは、このシステムに乗っかっていかないと行き詰まるかなというのが個人的にはあります。この部活動の数字がそうです。

そんな状況で今、動いているので、中学校の部活動とにこにこさんは、今後、指導者が、そういう人がいれば手を挙げてお金をもらって、腹栄中の、例えば野球部の指導者がいな

いのでお願いしますと。学校でもやっていきたいとなれば、それが成立するという現状です。

【隈部委員】 済みません、私の認識が間違っていました。そうすると、にこにこさんとしては、小学校のほうに大きく絡んでくるということになるわけですね。そのときに、種目とか、いろいろな幅を広げていかないといけないということに対するにこにこさんとしての意識は、どういう方向に持っていかれるんですか。

【堀NPO法人長洲にこにこクラブ副理事長】 私どものクラブでは、多種目で、いろいろな種目をそろえてやっていかなければいけないということでスタートしていますけれども、特に青少年の場合は一つの種目にこだわらずに、いろいろな活動、体の動きをやって成長していくのが理想だということで考えております。

そういうところで種目は当然増やしていきたいんですけども、まずは指導者の問題ですね。指導者は、今までは熱意のある方が自分から進んで、協力しましょうということでやっていただいておりますけれども、これから先は意識的にいろいろ、指導者の育成のほうに力を入れていかなければいけないということで考えております。指導者の発掘から育成ですね。それに関しまして、できれば、子供のスポーツ環境はこういうふうになってきて、社会体育への依存が高まってきておりますので、地域全体でそういう子供のスポーツ環境をまずどういうふうに長洲の場合は進めていくかという一つの計画を立てて、それに基づいて、それには指導者をどういう方向で発掘、養成していくかというようなことを考えていく必要があるかと考えております。

【隈部委員】 わかりました。これから30年度の予算計画が町の方で立てられると思っておりますけれども、その中に、今日のこの資料の中には特に、こういうところの要員育成をしなければいけないとか、こういう分野を来年度は徹底的に育成するぞとか、そういうことをはっきりとさせていかないと、全体的にほわっと「育成しなきゃいけないなあ」みたいなことでは多分進まないんで、ぜひ「これは今年やるんだ」ということをはっきりさせて、進めていただくほうがいいと思います。

もう一つあるんですけども、PR不足というのは何人かおっしゃったわけですが、私が思うに、高齢者それから子供たちというところには非常に目が行っているような気がするんですけども、社会全体として、働き盛りとか、そういう若い人たちの、さっき二、三十代の人が少ないとおっしゃっていましたが、そういう意味では、町全体としてのスポーツへの意識が、私はよくわかりませんが、極めて希薄だなという気がして。さっきおっ

しゃったように、私も、スポーツセンターにトレーニングでもしようかなと思って行ったら、がっかりきて、こんなところではやりたくないなという気がしたわけです。

それをあそこで、ばしっと、一般のところで行われているようなレベルまで持っていくには相当投資しないとイケなくなるので、その辺はうまく外との関係を取りながらやらないと、町が全部負担して、ばりばりのトレーニングセンターをつくるのは無理だなという気がするので、工夫をしないと無理ではないかなと。PRもちゃんとしないと。もしそうなればPRできるんですけども。その辺が難しいなという気がしています。

以上です。

【議長（中逸町長）】 限部委員からいろいろ現状と課題を言われたと思います。今日はその周知であります。先ほど、松永先生が言われたように、小中学校の部活、これはまたこの総合教育会議で煮詰めていかなくちやなりません。そして、また社会体育の分も、この総合教育会議で今後詰めていかなくちやなりません。そういう意味で、今日は広く全体的に限部委員にかなり言うていただきましたが、そういう課題が残っているということでもありますので、一応今日は、お互いがそういう課題を周知していくということだけをさせてもらいます。

引き続き、田中委員からお願いいたします。

【田中委員】 教育委員会でもまだまだ議論し尽くせていないところがありますので、私は小学生と中学生の娘がいますから、一保護者としての意見です。社会体育に移行になって、それまではバスケット、小学生は子ども会でビーチボールバレーをしていたので、それで十分だなという部分もあったんですけども、私も送迎が難しくなってきた、1回帰って学校に行かないとイケないとかがありますので、娘もモチベーションが下がる部分もあって、継続するための声かけとかが大変だなというのが印象でした。

あと、ほかの親御さんに聞いても、にこにこのいいところをなかなかご存じでない。幾つも競技を経験できるというところが。「何を選ぼうかな」じゃなくて、月曜は水泳、火曜はバスケット、そして週末は陸上だの何だのと競技がいろいろ経験できるんだということをまだまだ皆さんに知られていないなというのが印象です。

中学校の問題となると、うちは女子でバスケットをしているんですけども、運動量としてはかなりやっています。ただ、継続していくとなると、来年度の入部の子供たちとか、そういった部分がすごく不安で、ほかの競技も、長洲中だけやられていない、腹栄中だけではやられていないというのがすごく多いので、教育長、先生からも言っている

んですけれども、合同での練習を強く進めていただくとか、そういった部分でぜひもう一歩、小学校、中学校の運動の環境を強く進めていかないと、生涯スポーツとして、20代、30代、それこそ老人になってもスポーツするという意識がちょっと少なくなってくるなと思っています。だから、中学の部活の加入率もこれからどんどん少なくなってくるのをとても心配しているところです。

以上です。

【議長（中逸町長）】 ありがとうございます。

それでは、松本教育長、お願いします。

【松本教育長】 幾つか思いついたことを言いたいと思います。

まず長洲町のスポーツ環境を私はすばらしいなと思います。幼児から高齢者まで、何かスポーツをしようと思うと、いろいろな環境がそろっているんじゃないかなと思います。

まず幼児から小学生あたりはいろいろなスポーツを体験して、自分のやりたいスポーツを見つけて、中学校、高校と一つの競技に行っていただければいいと思いますし、そこまで行かなくても、勉強したりとか、いろいろな職業のことを考えて、自分の夢を実現していってくればいいのかと思います。

先ほどちょっと出ましたけれども、中学校の部活動もなかなか難しいところがありますので、困ったときに合同でするんじゃなくて、年度当初、4月からいつも一緒に練習をしていて、この大会は中体連なので学校ごとじゃないとできないというときには学校ごとに出る、特にそういう決まりがないような大会には長洲町の中学校のチームで出る、そういったことができないかなと今思っているところです。

それから、にこにこさんにいろいろしていただいています、サンアメニティさんにもいろいろな教室をしていただいています。旧岱明町からも来ているんですね。あのあたりも、玉名市あたりも、社会体育化になっていますので、子供たちが「どうしようか、どうしようか」というような状況になっています。にこにこさんあたりも、サンアメニティさんも、ああいったところに宣伝していただいて、増やしていただければなと思いますし、町長の考えで、フットサルができるように、B&Gの体育館と腹栄中でできましたので、これも宣伝していただくと需要があるんじゃないかなと思います。あとは海上スポーツをもう少し広めたいと思っていますところです。

いろいろ言いましたけれども、以上です。

【議長（中逸町長）】 ありがとうございます。

私のほうから。先ほどPR不足だと隈部委員から言われて、ほんとうにどこで何があったのか、にこにこクラブはどういう活動をやっているのか、そういうPRが長洲町は全体的に不足しているのではないかと思います。

そのためには、長洲町のホームページで各団体にリンクして入っていく、あるいは、長洲町のホームページに皆さんのそういった行事を載せていく。こういうホームページの改正といいますか、こういうのを来年度やっていきます。そのときに皆さんの団体にリンクしていくというのも一つの方法かと思しますので、そういう意味で、行政がこのPRをもっともっとしていこうということを我々も考えております。

今まで委員の皆様あるいは各種団体、校長先生から、いろいろなご意見が出ましたが、これから30分程度、全体でいろいろな課題、要望、交流も含めた全体協議とさせていただいて、お互いに、今日は結論を出すのは控えておきますけれども、まだまだ言いたいところがあったとか、予算面でどういうことをしてとか行政に対する要望があらうかと思しますので、忌憚のないご意見をお聞かせいただければ幸いです。

まず吉田会長から。なんでもいいですから。

【吉田長洲町スポーツ推進委員会会長】 先ほど、私が話しましたように、今、町長からもありましたが、PR不足ということですが、先ほどは現状ということでお話しさせてもらいました。

私は、行政によって区長さん、体育委員さんの温度差があると。区民の方は、終わった後に、知らなかったと。区民は平等に町のスポーツの行事には参加できるんですけども、上の方で決まっているというのが現状なんです。子ども会でもそうだと思います。子ども会の役員さんで話がまとまって、これには参加しないとか。そういう課題があるわけですね。

体育委員でも、私は上沖洲なんですけれども、年間、手当が幾らというのはあります。話を聞くと、よその行政では手当がないので、ほんとうにボランティアだと。手当が出る、出ないだけじゃないんですけれども、そこで体育委員さんのモチベーションも下がると思いうんですよね。

もう一度、そういった周知を徹底してもらいたいと思っております。それは町に対してもそういうお願いをしたいと思っております。

以上です。

【議長（中逸町長）】 ありがとうございます。

高松さん、何かありますか。

【高松長洲町子ども会連合会会長】 子ども会としては、学校の役員さんを決めるときに子ども会の役員からというのを、昨年聞いたんですよ。そうすると、子ども会の役員から学校のPTAの役員を選ばれると、5、6年生になると子ども会を抜かれる方がいらっしゃって、そういうのは学校側のほうにお願いしたいなと思って。

清里さんみたいにもともと少人数のところは割り振りで決められると思うんですけども、それがなくて、先生たちも、子ども会に入っているところから選んでくださいよというところが多分、簡単な選出方法で、そういう感じで言われているところがあるのかなと思って。実際に、今年度、それで5、6年生になって子ども会を抜けたというケースが何件かあっていますので、よろしければ分けてしてほしいです。

【議長（中逸町長）】 それでは、老人クラブ連合会の高松会長、高齢者スポーツは大変盛んになってきましたが、何か、こういうことをやっていきたいとか。

【高松長洲町老人会連合会会長】 今、私たち、事業計画の中で、「全て本部がやる事業に参加しなさい」じゃないんですよ。地域でできるものは地域でいいですよ。わざわざ海洋センターとか未来館とかいろいろ、足がないから出てくるのは大変でしょうと。だから、私たちがやったことで、もし地域で普及できれば地域でやってくださいと。このことを昨年からずっと言っています。

町のほうの取り組みで、ものづくりも盛んにやられています。そのことによって、私たちは文化事業も、文化祭も町の文化協会とともにやっていますけれども、もう一回老人会で何かその辺の方法を考えてくれないかというのが今の会員さんから。だから、会員さんのおかげで、私たち本部の人間もいろいろなことで動きがとれるようになったことが一つかなと。

それと、今いろいろ老人会の新しい方々に対してのニュースポーツの指導者の育成がかなり全国的にも言われています。県のほうからも、強化事業といって、いろいろ推進を図ってくれんかという要望が来ています。でも、これに対して、どうしても熊本まで行くというなら、無償じゃなかなか行けないと。その辺で、今、予算的なことで、そこの推進委員の派遣がなかなか、選んで出さないとできないというのが実態です。

それと、町の全体のことなんですけれども、今現在どこの組織もある程度は動きをやっています。その中で、似たような行事をそれぞれやっている団体が多いです。その辺を一つに、それぞれの組織が横のつながりを取りながらやることによって、スタッフの強化と

予算低減につながりはせんかということで、いろいろな団体さんにも今、声をかけているところですが、こういう点に今後取り組むことができればという願いは持っています。そういうことです。

【議長（中逸町長）】 ありがとうございます。

ここにこの堀さんに対しては、隈部委員からいろいろなご要望もありましたが、全体的で結構でございます。堀さん、田成さんは同じ分野の指導をやっておられますので、よろしくお願ひします。

【堀NPO法人長洲にこにこクラブ副理事長】 今、高松会長からもお話があったとおり、いろいろかなり難題がそれぞれあって、事業をやっておりますけれども、関連するスポーツの種目あたりは、その関連団体が、ある程度、情報交換しながら今後やっていったほうが、より効果が上がって効率的ではないかということで、そういう、日ごろからスポーツ環境についての情報交換ができるような会議を設けていただければと思っております。以上です。

【議長（中逸町長）】 生涯学習課長、今のご意見に対して。

【長田生涯学習課長】 いろいろご意見ありがとうございます。町としましても、今年に入りまして情報交換会を3回ほど開催いたしまして、体育協会なり、にこにこクラブなりの連携を強化するような形で、方針等を今、目指しているところなんですけれども、町としましても、こういったスポーツの推進を進める上で、先ほど堀さんが説明されたように、町において審議会じゃないですけれども、そういったものを設置して、今後いろいろな面で協議していく必要があるかなと思っております。

【議長（中逸町長）】 では、田成所長、何かありましたらお願いします。

【田成株式会社サンアメニティ長洲営業所所長】 スポーツセンターでは、昨年来、体育館の改修ですとか、今年度はランニングコースの電灯の追加ですとか、かなり設備に投資していただいていて、担当課のほうとも常日ごろ情報を交換しながらやっておりますので、特に要望とかそういうのはないんですが、ただ、先ほども申しましたとおり、稼働率の低い施設の料金体系の見直しは、特にグラウンドのナイター照明代が高かったりする部分を見直していただけると、もっと町の方が使いやすい環境になるのかなとは思っております。

【議長（中逸町長）】 ありがとうございます。

今の料金の件も、検討を行政のほうでもさせていただきます。

校長先生のほうから、さまざまなご意見が出ましたけれども、何かつけ加えておきたい

ことがあれば、お願いいたします。

【城清里小学校校長】 先ほども申したんですけれども、できるだけ浅くでもいいから非常に広く経験させたいというのがあります。今の子供たちが大きくなって行って、長洲町をつくっていく。今、20代、30代が少ないというお話をされましたけれども、私は今50代ですが、努めて何か体を動かしてとか、自分の健康法とかしているかというところと全くしていないと。そういうところを、大人の背中を見て、子供たちは、長洲町がこういう環境にあるなというのを理解し、体を動かしたりとか汗をかいたりとか、何しろみんなで群れるとか、そういうものを経験して、「いいことだな」「楽しいことだな」と。そして今度はそれを子供たちが自分の子供たちにまた伝えていくのかなと思っていますので、長洲町がそういうのが継承していけるようにぜひしたいなと思っていますところですよ。

【松永腹栄中学校校長】 3点です。お知らせというか情報提供ですけれども、さっきの部活動に絡めて、合同チームの、これは中体連の大会に出る、出ないの話なんですけれども、授業とか運動に親しむというのには直結しませんが、合同チームの条件が、——しかもチームゲームだけなんですよ。七つ。今、長洲、腹栄であるのは野球、バレーボール、バスケットボール、サッカー、それと、ないけどラグビー、ソフトボール、ハンドボール、この七種目に限って合同チームが条件として挙げられているんです。

足りないチームと足りないチーム。だから、長洲中と腹栄中でいけば、足りないチームと足りない学校ですね。足りない・足りない。それと、足りない・足りるも一緒でいいんです。どっちかが足りなければ。だから、足りない長洲中と足りている腹栄中が一緒になってもいいんです。同じ条件で、足りなくて、たくさんあるけれども、合同じゃなくて単独でこっちが足りないけれども出たいときには、これを補員というか、わかりやすく言えば、借りてくるというか、それで腹栄中、長洲中で単独で出られるという今のところのルールです。

だから、全国中体連も今後どんなふうに変わっていくのか、今度のオリンピックを機に大きくスポーツ界も変わっていきますので、全国中体連とか高体連がいろいろなところで変わってくる可能性がありますから、その動向を見ながら自治体も考えていかないといけないかなと思っています。

先ほど、補足がありましたように、スポーツ基本法ができて、22、23、24と立国と基本法と基本計画ですね。この基本計画は2期目に入りました。この29年4月から2期がスタートしています。その中にオリンピックが入ってきているんですね。県も地方分

権で、参酌せんでもいいんですけども、単独でつくりましょうよと言って、熊本県もつ
くっているんで、今、熊本県が2期目に今動いておりますけれども、長洲町も計画があり
ますので、もう少ししたら、異動にかかってくると思うんですけども。

それと、学校現場は学習指導要領が今度改訂になります。その部分で非常にリンクし
ている部分、今までもあったんですけども、さらに強化していく部分が「する・見る・支
える」といういろいろな立場のかかわり、いわゆるスポーツを文化として捉えるためにか
かわり方をたくさん広げていこうというのが両方であって、さらに今回の学習指導要領に
は「する・見る・支える」、学校に初めて入ってきたのが「知る」です。意識はあったもの
の強調していない、知る部分、学ぶ部分というところが新学習指導要領には入ってきまし
た。

だから、この中でずっと抜け落ちているのが障害者スポーツです。このにこにこスポー
ツクラブにも障害者スポーツプログラムを入れてほしいなというのが個人的な考えであっ
て、いろいろな場面でインクルーシブ社会がほんとうにできるような部分を、それから、
施設が長洲町にも、スローすてっぷもありますし、いろいろなところに作業場もあります。
こんな方が一会員としてスポーツにかかわって、実際の社会の中でインクルーシブ社会、
そこでスポーツに関したほうが、コミュニティーが作りやすいという環境を、今、国の
ほうでも大いにプッシュしておりますので、体育の授業でも障害者スポーツが入ってくる
可能性が非常に高いです。もちろん健常者と言われる生徒ばかりかもしれないけれども、
そこに障害者スポーツを入れてくる。そんなところも、この国の動き等あります。それか
ら、中体連の先ほどの分もありますので、一応、情報提供ということでお話ししました。

【議長（中逸町長）】 ありがとうございます。

今の校長先生のいろいろなご意見に対して、教育長、いかがでしょうか。

【松本教育長】 その前に、子ども会の会長さんに質問していいですか。

【議長（中逸町長）】 はい、どうぞ。そして、あわせてお願いします。

【松本教育長】 先ほどの、子ども会の役員をしたら学校の役員というのは。

【高松長洲町子ども会連合会会長】 子ども会の保護者の中から。

【松本教育長】 子ども会の役員というのは、行政区の中の子ども会ですか。町全体じ
ゃなくて。

【高松長洲町子ども会連合会会長】 その学校の役員というか、保護者ですね。子ど
も会の保護者。

【松本教育長】 行政の子ども会か町の子ども会のかという質問です。

【高松長洲町子ども会連合会会長】 行政です。行政というか、学校の範囲の、校区の。

【松本教育長】 例えば、松原なら松原で5年、6年生の保護者の方が、松原の子ども会の会長というか役員になりますよね。そういった方々が……。

【高松長洲町子ども会連合会会長】 役員というか会員です。5、6先生の会員さんからPTAの役員さんを。だから、長洲小学校なら長洲小学校の中の子ども会の5、6年の会員さんから学校のPTAの役員さん、または、その中でまた清里みたいに子ども会の役員さんを。

【隈部委員】 その人は何でまた子ども会をやめてしまうんですか。

【高松長洲町子ども会連合会会長】 役員になりたくないからです。

【隈部委員】 ああ、やりたくないから。

【高松長洲町子ども会連合会会長】 はい。簡単な。

【松本教育長】 その話を初めて聞いて、校長会ではそういう話題は全然聞かなかったので、そういうのをまた校長会で議論したいと思います。

とにかく役員決めが大変だと。

【議長(中逸町長)】 今、城先生が、広く教えたいということで言われましたけれども、そういう学童保育とか、放課後に何かいい報告があったら。

【松本教育長】 今、子供の放課後の居場所づくりを考えているところです。学童と子ども教室二つありますので、それを一体化して、月曜から金曜、あるいは土曜日まで全部面倒見ましょうと。その中でいろいろなスポーツをさせていくプログラムも入れていこうということを今、考えて、実際、30年度には少しずつ動き出すというところがあります。

中学校の部活のメンバーが減ってきて、なかなかチームができないという、そういう合同の条件は、ある程度知っておったんですけども、足りないところ・足りないところだけでしかだめだったのを、昔は、それをほどこ言いましたけれども、4月当初から、春休みとか夏休みとか冬休みは合同で練習をしていくと。そして、大会によって、分かれて出たり一緒に出たりするようにしていけばいいのかなと思っています。

以上です。

【議長(中逸町長)】 そのための組織づくりというのがこれから総合教育会議の中でやると。次回はそういうのを、学校の部活と社会体育を分けてやっていかせていただきたいなと思います。

大山先生、何かございますか。

【大山委員】 幾つかあるんですけども、まず子ども会ですが、最近の子ども会の加入率が減ってきているということですね。それで、入っている子と入っていない子のコミュニケーションがどうかという心配もあるんですけども、例えば、夏休みのラジオ体操も、子ども会でやっているから、子ども会に入っている者だけが出てくるとかということもあるということ。

もう一つは、子ども会自体がこういうふうに加率が非常に減っているから、子ども会自体を長洲町として継続すべきかどうかという疑問があります。というのは、ほかの町では、子ども会もなくなっているところが幾らかあって、郡ですか、あるいは郡市ですかね、そのビーチバレーの大会とかソフトボールの大会でも、子ども会単位で出ることじゃなくて、小学校区で出てきているという状況があるんですね。だから、そういう点でほんとうに必要なかどうか、続けていったほうがいいのかどうかということも議論していかなければならないんじゃないかなと思っています。

それから、ここにこの件ですけども、さっき、小学生もいろいろなスポーツに当たるほうがいいということで、幾つかの競技をしている子もおるんですけども、担当する種目競技としては、自分のところの種目に集中してほしいというのが、意欲というか、子供が集中してくれないというか、ただ来ているという感じの参加もしているということですね。

それから、もう一つにここにこの会員が増えないのが、入会金が高いとか、一括して払うと非常に高いということで、これは独自で運営していかないといかんといったことがあるからだろうと思うんですけども、それに対して、行政からの援助というのは、今あっているのかということも含めて、お尋ねしたいと思います。

それからもう一つ。さっき、20代、30代の参加が非常に少ないのではないかということですが、私、夜、卓球の練習をしているところでは、B&Gの体育館では大体ほかの面も若い人で埋まっているという状況がありますので、お知らせしておきます。

以上です。

【議長（中逸町長）】 それに対しては、堀副理事長、何かありますか。今の大山委員の……。

【堀NPO法人長洲にここクラブ副理事長】 会費の件は現在、小学生あたりが年間6,000円ということで、そのうち1,000円ぐらいはスポーツの保険料です。実質は

5,000円ですので、月にしますとそう高い金額ではないと思っております。ですから、分割で、2期に分けての制度も設けております。

それから、町のほうからは、施設の使用料のところでは減免を一部させていただいておりますので、そういうところでは非常に助かっております。

【議長（中逸町長）】 では、高松会長、よろしくお願いします。

【高松長洲町子ども会連合会会長】 子ども会のほうで会員数の件なんですけれども、会員数が減ったと申しましても、玉名郡では割合的に1番です。あとは、熊本県で見ても、天草が1番で、長洲町は2番手になります。それだけ会員数はまだ、減ったと言われても多いです。

あと、競技ですけれども、郡の予選になっていますビーチバレーは、昨年度21チーム出ています。ソフトボールに関してだけ、参加チームが少ないので、これは参加するときには学校単位でも構いませんよということは上がってきています。学校単位で出られても全然構いません、出てくださいということで、何年か前、清里は合同で、長洲校区も合同で2チームつくったという経緯もあります。だから、少なくとも出れるビーチバレーはまだ単体で、自分たちで出るんだということで出ています。

以上です。

【議長（中逸町長）】 ありがとうございます。

限部委員、何かありますか。

【限部委員】 先ほど大山委員からありましたけれども、ラジオ体操。これは、日本のとてもいい文化だと思うんですけれども、よく話に聞くのは、せっかくラジオ体操の時間と環境はあるんだけど、来ているのは老人ばかりで、子供は3人でした、老人は10人でしたみたいな。何だろうという感じがするんですけれども。ラジオ体操は、スポーツというのかわかりませんが、こういう範疇の中できちんと若い親たちと子供たちが一緒になって全体でやっという機運を高められやすい非常にいい機会だと私は思うんですね。この辺は皆さん、学校も含めて全員で進めていこうというふうにしてもらいたいなというのが一つですね。

それからもう一つは、さっき生涯学習のほうから、スポセンの利用が28年度14万人だと。「それで？」という気がするんですね。だから、何というか、目標として何%アップしようとか、そういう具体的な目標設定をしてあげないと、どこに行っているんですかという気がするので、もう少しきちんと目標を立てて、20%アップしようみたいなスロ

一ガンでPRをどんどんしていくみたいなことを、私たちが考えなくちゃいけないんですよけれども、考えましょうということです。

以上です。

【議長（中逸町長）】 目標値を決めていくことは大事な事かなとは思いますが、駅伝もほんとうにこないだ吉田さんに努力していただいて、人数も増えました。しかし、役場の職員が出ていないというのは非常に僕も不満で、来年は必ず出しますので、そういうことが一番欠けているのかなという気がいたします。

では、田中委員から。

【田中委員】 いろいろあり過ぎて。ぜいたくを言えばなんですけども、送迎バスです。できれば、私としては、次の日の勉強とか学校生活のために、9時ぐらいまではさせたくないで、早目に終われる活動を選ぼうとすると、5時半とかの始まりには、なかなか一般的に働いている人は間に合わない。できれば、送りだけでも何とかならないかなということで、きんぎょタクシーがもし時間延長とか、もしくは別で動けるならばというところを探ればなどは考えているところです。

あと、31年度に全部、社会体育移行が小学校はありますので、ここ一、二年でほかの市町がどんどん変わっていく中、早目に、せつかく長洲町ができたので、またもう一步進みたいなのところなんです。

以上です。

【議長（中逸町長）】 来年度、総合教育会議の中でもう一回、社会体育、あるいは小中学校の部活の問題をやらせていただこうと思います。そのときにはきちんと方向性を、ある程度出していききたいなと思っております。

それと、今、言われた送迎バスの意見、制度設計を教育委員会にさせてください。そして要望してください。そして、幾らぐらいかかるかということも含めて新年度の予算要求とかも検討していききたいなと思います。

それでは、あとは皆さんから何かありますか。どうぞ。

【吉田長洲町スポーツ推進委員会会長】 今日は、スポーツ振興ということでの議題です。毎年、郡体があっております。で、これはある人から、「郡体って、これ、町対役場の対抗戦かな」というようなことを、ここ何年か聞いているんですね。実際、役をされている方は、競技者を集めるのに大変苦慮されていることはわかっております。以前は、長洲といたら陸上王国という、県でも有名だったので、もう一度郡体に出場される選手

の発掘を町だけではなくて、いろいろな団体に声かけすれば、もっとスポーツのレベルが上がるし、そういったことが子供たちに受け継がれていくのではないかなと思うので、ぜひ来年度はそのところを考慮したところで選出をお願いしたいと思います。

【議長（中逸町長）】 生涯学習課長、どうですか、今の意見に関しては。

【長田生涯学習課長】 陸上競技の郡体と思うんですけども、これに関しては、なかなか今まで各方面いろいろご案内しても参加する方がいっしょらなくて、役場の職員が多く出ているのが現状でございますので、先ほど課長が言われたように、さらにいろいろ各方面にお声かけしてできるだけ参加されるように持っていきたいと思います。よろしくお願いたします。

【議長（中逸町長）】 まちづくり課長、企業等に声をかけるということはいかがですか。

【田成まちづくり課長】 やっています。担当課のほうから組合関係はしているかと思うんですけども……。

【議長（中逸町長）】 いや、まちづくり課の、企業等連絡協議会とかこういうのを活用してスポーツの振興を呼び掛けて、いろいろな企業に勤めている人が長洲町から出ると。そういうのはいかがですか。

【田成まちづくり課長】 町外者は参加できるんですか。

【長田生涯学習課長】 在勤は出られる。

【議長（中逸町長）】 だから、今、吉田会長が言われたことをもっともっと我々行政レベルも頑張っていないと、役場職員対抗になっているのが事実ですよ。総務課長、どうぞ。

【田畑総務課長】 以前、私がまだ若いとき、ナイター陸上というのがありよったんですよ。で、グラウンドに来ている人皆さんに100メートルはかりよったんですよ。そこで、100メートルで早い人に郡体に出てくださいという案内をして、練習もナイターでしよったんですよ。そういうのも一つの手かなと。皆さん、どのぐらいで走れるというのがわからないじゃないですか。ソフトボールやられている方、サッカーやられる方、いろいろな方がやっているの、あそこで運動しながら100メートルはかりよったんですよ。50メートルでもいいです。それで早い人が大体わかっつてですよ。そこで選抜してお願いして出てもらいました。

【吉田長洲町スポーツ推進委員会会長】 田畑課長、それ復活させてください。せっかくいい例なので。

【大山委員】 ちょっといいですか。今ので、陸上だけが長洲町の……。

【吉田長洲町スポーツ推進委員会会長】 いや、陸上だけじゃないですよ。それは……。

【大山委員】 協会がないんですよ。普通は種目協会が中心になって選手を。まずは陸上競技の種目協会をつくらんといかんですよ。

【吉田長洲町スポーツ推進委員会会長】 だから、体育協会が今、休眠ちゅうか、しているような状態でしょう。だから、本来は体育協会が町のスポーツの頭となってしなくちゃいけないですよ。

【議長（中逸町長）】 いろいろな課題、そういう陸上がないというのも、初めて我々もわかりましたので、そういうのを含めて、企業からも出やすくするためには、まちづくり課が企業等連絡会議をもっともっと、その中で参加者、企業の中には、いろいろ、水泳からバレー部までいらっしゃると思います。そういう方も長洲町として出ていただく。そうしたら、全体的にレベルアップしていくんじゃないかと。それは十分課題が上がりましたので、来年度からは、そこは今、会長のご意見をお聞きして、充実してまいろうと思っております。

【大山委員】 今ので確認ですけれども、町に勤めておれば住所は違っていても長洲町の選手として出れるんですか。

【議長（中逸町長）】 企業が長洲だったら出れるということなんですね。

【大山委員】 そうですか。

【議長（中逸町長）】 そういう周知も先生。

【大山委員】 大体、町から出た人がふるさと選手として。

【長田生涯学習課長】 ふるさと選手ですね。これはいい。

【大山委員】 ふるさと選手はもともと長洲町出身じゃないとだめなんです。

【長田生涯学習課長】 そうです。失礼しました。

【議長（中逸町長）】 で、企業としてもふるさと選手で出れるんですか。

【長田生涯学習課長】 出れます。はい。出れるけれども、長洲町出身じゃないと……。

【吉田長洲町スポーツ推進委員会会長】 そうなんですか。町外の方が長洲町の企業に勤めていても、それはだめということですね。でも、町内の方が町内の企業に勤めていらっしゃるとすればもちろんオーケー。でも、その周知がまだ徹底されていないということです。

【議長（中逸町長）】 今日はいろいろ言われて、やっぱり周知をもう少し充実していこ

うと。郡体があるから出場できる方は出てくださいというのを周知していくのも大事なかなという気がいたします。

そろそろ時間が参りましたので、今日はこの辺で終わらせていただきたいと思います。ほんとうにありがとうございました。

【司会（杉浦総務課長補佐）】 それでは、次第4にありますその他について、事務局から連絡をお願いいたします。

【事務局（五十嵐総務課総務係担当）】 事務局から連絡事項でございます。次回の第4回の総合教育会議の日程と協議・調整事項についてご連絡をいたします。

日程につきましては、来年の3月を予定しておりまして、協議・調整事項については、現在、検討中でございます。いつものご案内になりますが、教育委員会からも協議すべき事項などがありましたら、ぜひご提案をいただきますようお願いをいたします。

事務局からは以上でございます。

【司会（杉浦総務課長補佐）】 ありがとうございました。

それでは、本日の会議は以上で終了となります。これで平成29年度第3回長洲町総合教育会議を閉会いたします。皆様どうもご協力ありがとうございました。

以上、会議録の顛末を記録し、相違ないことを証するため、長洲町総合教育会議運営規約第6条第3項の規定に基づき、ここに署名する。

町 長

教育長